

ピジョン真中株式会社/介護福祉士実務者研修通信課程

受講の手引き

令和3年度 受講案内

期間 令和3年4月1日 ~ 令和3年8月31日

<目次>

1 実務者研修について	P2
2 当校について	P2
3 募集要項	P2
4 お申込み方法	P2
5 学習全般について	P3
6 修了認定の条件	P3
7 自宅学習について	P4
8 スクーリングについて	P4
9 科目別の到達目標と課題提出日	
9-1 ヘルパー2級修了者	P5
9-2 初任者研修修了者	P6
9-3 ヘルパー1級修了者	P7
10 添付書類	
受講申し込み書	別紙

1 実務者研修について

介護福祉士試験の受験要件のひとつとして、平成27年度より受講が義務づけられました。
幅広い利用者に対する基本的な介護提供能力の修得と、
医療的ケアに関する知識および技術の習得を目的としています。

また、今後の制度改正や新たな課題・技術・知見を自ら把握できる能力の獲得も求められています。

当実務者研修の修了と、介護実務経験3年という要件により、介護福祉士国家試験の受験資格が得られます。

実務者研修を修了するだけでも、訪問介護員および、サービス提供責任者になることができます。

2 当校について

ピジョン真中株式会社は、育児用品総合メーカーピジョン(株)のグループ会社として、
栃木県南部を中心に、訪問介護、訪問入浴、通所介護、福祉用具貸与、居宅介護支援などの
在宅介護事業をおこなっています。

介護の事業では、人材の不足が問題となっていますが、当社でも介護の新たな担い手を育成するため、
平成26年より介護職員初任者研修を、平成28年より介護福祉士実務者研修を実施しています。

当校の特徴は、何よりも介護の現場で培ってきた経験と知恵であり、それは現在も日々蓄積されています。
その特徴を活かし、資格取得のみを目的とするのではなく、受講後に役立てるような講座を展開して
いきたいと考えております。

3 募集要項

課程 ピジョン真中株式会社 介護福祉士実務者研修 通信課程

開講時期 令和3年4月～令和3年8月

スクーリング会場

栃木県栃木市箱森町50番地15号

スクーリング日程

1 5月29日(土) 9:00～16:30

2 6月5日(土) 9:00～16:30

予備日 6月12日(土)

3 6月19日(土) 9:00～17:30

4 6月26日(土) 9:00～17:30

5 7月3日(土) 9:00～16:30

予備日 7月10日(土)

6 7月17日(土) 9:00～17:30

7 7月24日(土) 9:00～17:30

予備日 7月31日(土)

8 8月7日(土) 9:00～16:30(習得確認まで)

9 8月21日(土) 9:00～17:30(習得確認まで)

定員 18名

受講要件 15歳以上で、主に栃木県南地域において、本校の面接授業が受講可能なもの。

入所選考 先着順とします。

受講料 保有資格によって異なります。テキスト代込。消費税別。

ヘルパー1級資格保有	50,000円 +税	※従業員割引制度有
ヘルパー2級資格保有	90,000円 +税	
初任者研修修了	90,000円 +税	

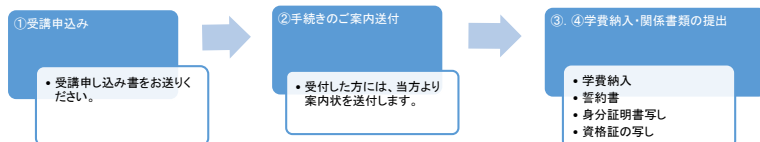
事前の一括納入を基本としますが、分割ご希望の方はご相談下さい。

その他費用 スクーリングをお休みされた場合、可能な限り予備日への振替をお願い致します。

予備日以外への振替をされた際は、**¥3,000+税/回**をご負担いただきます。

4 お申込み方法

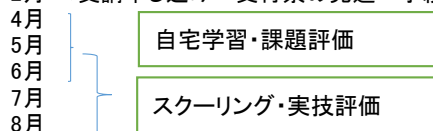
- ①当冊子に添付の受講申し込み書を 郵便、FAXまたは直接、当校まで提出して下さい。
締切は3月20日とします。ただし、この日以前であっても、定員に達した時点で受付終了とします。
- ②受講できる方には、当方よりご案内状を送付します。
- ③指定期日までに、受講料をお支払いください。
- ④講座開始日までに、誓約書、身分証明書のコピー、保有資格(科目免除になる資格)のコピー
をご提出ください。



5 学習全般について

- ・ 入学から修了までの主な流れ

2月～: 受講申し込み→受付票の発送→手続き(受講料の支払い・必要書類の提出)



令和2年度 受講案内

- ・ 修学期間と在籍期間

修学期間は、5ヵ月です。

原則としてこの期間内に全課程を履修できるよう、学習計画を立ててください。

- ・ 履修方法は、下表の通り通信指導及び添削指導、並びに面接による授業とします。

指定規則に定める科目及び時間数		基準時間	初任者研修対象免除項目	2級ヘルパー対象免除項目	履修方法
通信課程	人間の尊厳と自立(5)	5	免除	免除	テキストを精読し、各自で科目の理解度を深めた上で、本施設が提示する課題に回答して送付する。
	社会の理解Ⅰ(5)	5	免除	免除	
	社会の理解Ⅱ(30)	30	30	30	
	介護の基本Ⅰ(10)	10	免除	免除	
	介護の基本Ⅱ(20)	20	20	免除	
	コミュニケーション技術(20)	20	20	20	
	生活支援技術Ⅰ(20)	20	免除	免除	
	生活支援技術Ⅱ(30)	30	免除	免除	
	介護過程Ⅰ(20)	20	免除	免除	
	介護過程Ⅱ(25)	25	25	25	
	発達と老化の理解Ⅰ(10)	10	10	10	
	発達と老化の理解Ⅱ(20)	20	20	20	
	認知症の理解Ⅰ(10)	10	免除	10	
	認知症の理解Ⅱ(20)	20	20	20	
	障害の理解Ⅰ(10)	10	免除	10	
	障害の理解Ⅱ(20)	20	20	20	
	こころとからだのしくみⅠ(20)	20	免除	免除	
	こころとからだのしくみⅡ(60)	60	60	60	
医療的ケア(50)	50	50	50		
通学	介護過程Ⅲ		45 (7日間)		面接授業にて履修する。
	喀痰吸引及び経管栄養演習		必要回数 (2日間)		
合計(時間)		450	320	320	

6 修了認定の条件

次のすべての条件を満たすことが必要です。

①所定科目の課題のすべてにおいて合格評価(80点以上)を得ること。

②スクーリングの全科目、全日程に出席すること。

授業開始から20分以上遅れた場合は欠席とします。また、欠席の際は事前に連絡して下さい。

③スクーリング時の到達目標基準に達すること。

介護課程Ⅲにおいては国家試験同様の問題および実技評価、医療的ケアについては手技の習得について評価します。

7 自宅学習について

通信教育課程は、テキスト等により自宅学習を行い、科目ごとのレポート課題を提出することによってすすめられます。

提出課題は、所定の期限までに所定の封筒で郵送いただくか、直接ピジョン真中までお届けください。合格評価80点に満たない場合は再提出を依頼します。この際、先に提出された回答は返送されません。

決められた締切日までに到着するよう、発送して下さい。
学習の遅れにより、スクーリングを受講できない場合があります。

郵便の場合、第四種郵便【通信教育用】を適用し、特別料金での発送が可能です。
お送りしてある封筒をご使用ください。

※通信教育用郵便物 100g以内15円(追加100gごとに+10円、上限1kg(教科用の図書を内容とするものは3kg)以内)

8 スクーリングについて

スクーリングは、演習等を通じて、自宅では得られない幅広い学習をすることが目的です。

また、実技について講師が直接指導し、習得を確認する場ともなっています。

他の受講生との交流の場にもなります。

この機会を十分に生かし、良い学びができるよう心がけてください。

スクーリングは介護過程Ⅲを7日間、医療的ケアを2日間行います。

5月下旬より、土曜日、全9回の実施です。

会場はピジョン真中栃木事業所(栃木市箱森町50-15) 2F研修室です。下の地図をご参照下さい。

事前の出席確認は行いません。

特別な通知が無い場合には、実施スケジュールに従い、会場までお越しください。

お持ちいただくものは、テキスト⑤介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(1～7日目)またはテキスト⑨医療的ケア(8～9日目)です。

介護演習があります。介護をする・介護を受ける立場を体験していただきます。

そのために、身だしなみを適切に整え、受講して下さい。

具体的には、動きやすい衣服、アクセサリー等の非着用、爪を短く切る、長髪の方は髪の毛をまとめる、などです。

スクーリングは定められた順序があり、原則として順序を変える事はできません。

万一欠席の場合には、出来る限り早めのご連絡をお願いします。

基本的に予備日に補講を行います。予備日においても出席が困難な際は別途日程を調整致します。

万一、補講が間に合わない場合、修了日が遅れてしまう可能性もあります。ご了承ください。

○ 会場地図(ピジョン真中株式会社)



※駐車場は、建物北側の「ピジョン真中従業員駐車場」をご使用ください。

○ お問い合わせ

ピジョン真中株式会社 研修事業部 実務者研修通信課程 [松崎・後藤]

〒328-0075 栃木県栃木市箱森町50番地15

TEL 0282-20-8311 FAX 0282-20-2271

9-1 科目別の到達目標と提出日程(ヘルパー2級修了者)

課題提出日	科目	課題到達目標
4月	社会の理解Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。 ● 社会保障制度の発達、体系、財源等について基本的な知識を習得している。 ● 障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。 ● 成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関する制度に概要を理解している。
課題提出：4月30日		
5月	発達と老化の理解Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ● 老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。 ● 老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。
	認知症の理解Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。 ● 認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ● 認知症の人やその家族に対する関わり方の基本を理解している。
	障害の理解Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害の理念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。 ● 障害(身体・知的・精神・発達障害・難病等)による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ● 障害児者やその家族に対する関わり・支援の基本を理解している。
	介護過程Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。
課題提出：5月31日		
6月	発達と老化の理解Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ● 発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。 ● 老年期の発達課題、心理的な課題(老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等)の支援の留意点について理解している。 ● 高齢者に多い症状・疾病等の支援の留意点について理解している。
	コミュニケーション技術	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得している。 ● 援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。 ● 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。 ● 状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。
	認知症の理解Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ● 代表的な認知症(若年性認知症を含む)の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 ● 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ● 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。
課題提出：6月30日		
7月	障害の理解Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得している。 ● 障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ● 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。
	こころとからだのしくみⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間の基本的欲求、学習・記録等に関する基礎的知識を修得している。 ● 生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能について基本的な知識を修得している。 ● 身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。
	医療的ケア	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。
課題提出：7月31日		
スクーリング (全9日間)	介護過程Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ● 実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。 ● 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護(アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等)を提供できる。 ● 介護計画を踏まえ、安全確保、事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ● 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。
	医療的ケア(実技)	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

9-2 科目別の到達目標と提出日程(初任者研修修了者)

課題提出日	科目	課題到達目標
4月	社会の理解Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ●家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。 ●社会保障制度の発達、体系、財源等について基本的な知識を習得している。 ●障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。 ●成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関する制度に概要を理解している。
	介護の基本Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ●介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。 ●チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。 ●リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。 ●介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。
課題提出:4月30日		
5月	発達と老化の理解Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ●老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。 ●老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。
	介護過程Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ●情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。
課題提出:5月31日		
6月	発達と老化の理解Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ●発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。 ●老年期の発達課題、心理的な課題(老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等)の支援の留意点について理解している。 ●高齢者に多い症状・疾病等の支援の留意点について理解している。
	コミュニケーション技術	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得している。 ●援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。 ●利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。 ●状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。
	認知症の理解Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ●代表的な認知症(若年性認知症を含む)の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 ●認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ●地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。
課題提出:6月30日		
7月	障害の理解Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得している。 ●障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ●地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。
	こころとからだのしくみⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ●人間の基本的欲求、学習・記録等に関する基礎的知識を修得している。 ●生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ポディメカニクス等、人体の構造と機能について基本的な知識を修得している。 ●身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。
	医療的ケア	<ul style="list-style-type: none"> ●医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。
課題提出:7月31日		
スクーリング (全9日間)	介護過程Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ●実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。 ●知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護(アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等)を提供できる。 ●介護計画を踏まえ、安全確保、事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ●知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。

医療的ケア(実技)

●医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

9-3 科目別の到達目標と提出日程（ヘルパー1級修了者）

課題提出日	科目	課題到達目標
7月	医療的ケア	●医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。
課題提出：7月31日		
スクーリング (全9日間)	介護過程Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ●実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。 ●知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。 ●介護計画を踏まえ、安全確保、事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ●知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。
	医療的ケア（実技）	●医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

令和3年度

No.

ピジョン真中株式会社
実務者研修通信講座受講申込書

フリガナ				男・女	生年月日	年	月	日生
氏名							(歳)
フリガナ				電話	自宅			
現住所								
e-mail								
研修コース	希望コース		修了資格証発行機関名			受講料		
	<input type="checkbox"/>	初任者研修修了者通信課程 (320時間)				90,000円 +税		
	<input type="checkbox"/>	1級ヘルパー修了者通信課程 (95時間)				50,000円 +税		
<input type="checkbox"/>	2級ヘルパー修了者通信課程 (320時間)				90,000円 +税			
勤務先	名称				電話			
	所在地							

以下の項目も確認し、チェック☑してください。

- 通信科目のほか、9日間のスクーリングがあることを理解し、日程も確認しました。
- 介護福祉士の受験には、当講座修了のほか、実務経験3年が必要です。